

通巻第75号

2018年7月27日発行

発行:放送大学神奈川学習センター

〒232-8510 横浜市南区大岡2-31-1

url: <http://www.sc.ouj.ac.jp/center/kanagawa/>

tel:045-710-1910 fax:045-710-1914

目 次

中国・天津でのあれこれ 客員教授 宇高義郎	2～3
今年の9月末で放送大 学の地上系放送(テレビ・ FMラジオ)は終了します！	4
平成30年度1学期入学 者の集いアンケート	5～6
日韓文化交流の一日	7
杉田客員教授の本が出 版されました	7
神奈川学習センター 開講ゼミ・研究会一覧	8～9
Kーサポートからの お知らせ	9
学生サークルからのお知 らせ／同窓会だより	10 ～11
学習センターからのお知 らせ	12

神奈川(みなとみらい)



東京タワー(4ページに関連記事)

中国・天津でのあれこれ

客員教授 宇高 義郎

はじめに

もう6年近くも前だったかと思う。以前勤めていた横浜国立大学の中国人卒業生から、中国の外国人千人計画に応募してみないかといわれた。彼は10年近い日本での博士課程留学と会社勤務を経て、中国の天津大学に戻っていた。天津大学を通じて政府に応募するので、それに通れば天津大学に勤務することになるとの



天津から行く万里の長城にて

ことであった。しばらくはあまり本気で考えていなかったが、定年の1年半ほど前に再度そんな話があった。定年後の仕事としてちょうどいいかなと考え、具体的に進めた。そんな過程を経てから、既にフルタイムの天津大学勤務が3年目に近くなっている。年に7-8ヶ月の天津住まいとなった今、中国での仕事や生活のあれこれを綴ってみることにする。といっても日本での用事も多く、また家族もいるので、ほとんど毎月行ったり来たりしている。なお、本稿は私の天津での短期間の経験に基づいているもので、中国一般に通用するようなものではないであろうことをお断りしておく。

天津市のこと、天津での生活のこと、...

天津市は北京、上海、重慶とともに中国における4つの直轄都市の一つである。人口1,547万人(2016年)の大都市である割には、日本における知名度はそれほど高くないように思う。天津飯、天津甘栗、加えて数年前の天津港化学

倉庫の大爆発など(だけ)が有名である。が、天津飯については、日本人の創作のようで天津には存在しない。天津甘栗はなかなかおいしいので、天津土産としてよこんでもらえる。



天津甘栗

“天津(中国)の現在”は成長著しい。変化は速く、数年前の情報はすぐに古いものとなってしまう。現に私が勤務を始めてこの1-2年のうちに、レストラン、タクシーなどにおいてほとんどの支払いがキャッシュレスの電子決済化された。スマホアプリの支付宝(Alipay)と微信(Wechat)に入金、あるいは銀行口座とリンクさせておくと、スマホによるQRコードスキャンのやりとりだけで支払い・受け取りが可能である。シェアバイクと呼ばれるレンタル自転車が駅周辺や歩道のどこにでもあふれている。自転車のQRコードをスマホでスキャンするだけで鍵が開き、どこでも乗り捨てられる。しかもきわめて安価に利用できる。例えば摩拜单车(Mobike)という会社のものは、3ヶ月10人民元(170日本円ほど)で使い放題である。少し前までは5元/3月であった。もともと、これは単に客へのサービスというよりも、大手による中小業者を淘汰するためのディスカウントとのことでもあるが、また、ネットでのタクシー呼び出し、宅配便の進展も大きく、最近では私でも現金を使ったことがない。このように、日本は中国のIT利用やキャッシュレス化に周回遅れ以上の差をつけられていると言われる。ただし、それまでの自転車の盗難や買い物時の店舗販売員の無愛想・不親切などがIT化への強い駆動力となっているように思われる。以上のような中国の状況は、私にとって2度目の経済の高度成長期を経験させてくれているように思われる。また、世界の先進技術を取り入れる

ことの可能な現在は、特に進展の速度が大きい。

さて、中国人と日本人とのお互いの印象はどうか。両国ともマスコミ等を通じて政治的



母なる川・海河からの天津の街並み

な報道が多く、またいろいろな統計を見ると、お互いに信頼し合うような

国と国、あるいは国民と

国民の関係ではないようである。しかし私にとって、以前の中国の感じ方と、中国での実際の生活感は異なっている。私の移動手段はシェア自転車と少々地鉄(地下鉄)なので、タクシーをよく利用する。そんなこんなで実際の生活の場で接すると、中国人(天津人)一般はけっこう親日的である。中国人の日本旅行の増加は現実の日本(人)理解の上で望ましく、実効が上がっているように思える。

大学や研究環境など

天津大学は工学系を中心とする中国の重点大学の一つである。天津には南開大学というもう一つの教育部重点大学があり、理学系と文科系を主なテリトリーとしている。中国の大学には、古くソビエト連邦のシステムを手本として、大学の専門分化が実施された影響が残っている。しかし、近年はそれぞれの大学の分野拡張がおこなわれているようである。数年前までは、中国の研究レベルは日本と比べてまだまだとの意見も聞かれていた。しかし、現在は国の発展と同様に教育研究の勢いも強く、国際的にもトップレベルの成果を多くあげてきている。

私の天津大学との契約には多くの項目が記されているが、大略として、良好な研究成果をあ

げること、国際交流を進めること、若手教員・学生を育てること、などである。時間的制約を免れたので、授業は契約から除いてもらった。研究成果の数値目標とともに、(少し大げさで、私にそんな力はないながら、)専門分野の研究センターを立ち上げ、それを国際レベルにすることも含まれている。したがって、研究を先進国と並ぶようにすることが外国研究者に期待されているが、このようなシステムもそろそろ不要になってきているようにも思える。

おわりに

中国に対して自分の立ち位置をどこに置くべきかたまに考える。結論的に記すと、中国との関係はお互いの理解を民間レベルで深めていくことが重要であると思う。学術の世界では、論文の公表、学生・教員の留学など多くの情報のやりとりがどこでも容易に行える。そのような状況下では、お互いの交流を深めることが重要であるとの認識のもとに、日本への大学教員、学生の留学、学術などの面での中国との交流の進展に努めている。また、放送大学の学生の皆さんには、そのような経験を伝えられたらと思っている。



関東地域の学生の方々に重要なお知らせ！！

今年の9月末で放送大学の地上系放送 (テレビ・FMラジオ)は終了します！

放送大学では、BS放送への完全移行をすることを決定し、現在の地上波(テレビ・ラジオ)による放送は、今年9月末(1学期末)をもって終了します。

地上波で放送授業をご覧の方は、現在、授業番組と併せて「BS視聴方法のご案内」も行っていますので、**お早めにBS放送で放送大学が視聴できるかをご確認ください。**

※視聴に必要なアンテナの設置費用、NHKの受信料などは個人負担となります。

テレビを地上波12ch「放送大学番組」にし、しばらくすると画面の左下に「(青)BSの受信方法」と表示されますので、リモコンの青ボタンを押してください。そのあとは案内に従い、BSの受信方法をご確認ください。

なお、本案内は基本的に録画に対応しておりませんので、放送時にご確認ください。



青 BSの受信方法

リモコンの青ボタンを選択

【注意点】

本案内は、地上波放送のみ表示されますので、BS放送でご視聴の場合は、表示がされません。

ご覧の地上デジタル放送は今年9月末で終了します
10月よりBSで学び直しの新たなチャンネルが増えます
BS放送の視聴方法はリモコンの青ボタンを押してください

本件に関するご不明な点がございましたら下記にお問い合わせください。

放送大学学園相談窓口

電話：0570(010)017

受付時間：9時から19時まで(月～金)

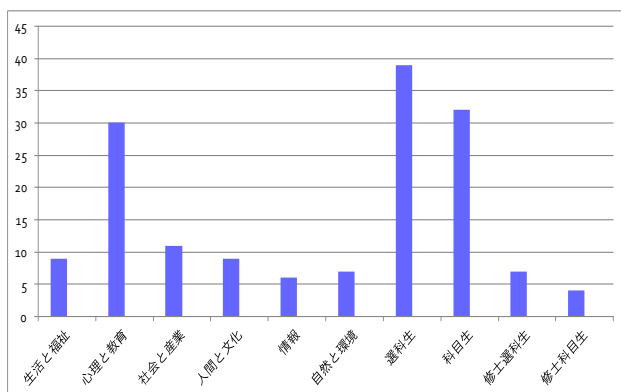
平成30年度1学期入学者の集いアンケート

編集部

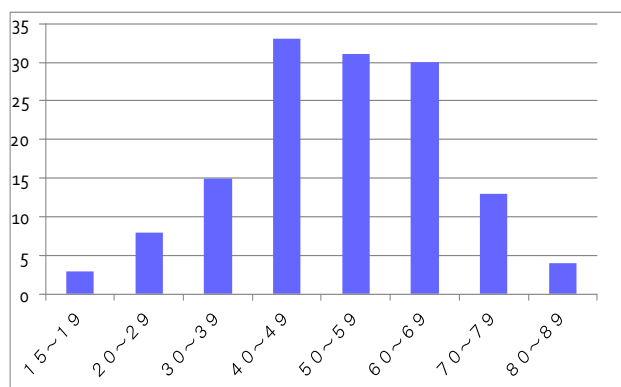
入学者の集い参加者に対して、2009年4月から継続的にアンケートを実施しています。

今回の集い参加者は260名で、うち153名の方に回答いただきました。回収率は、59%でした。

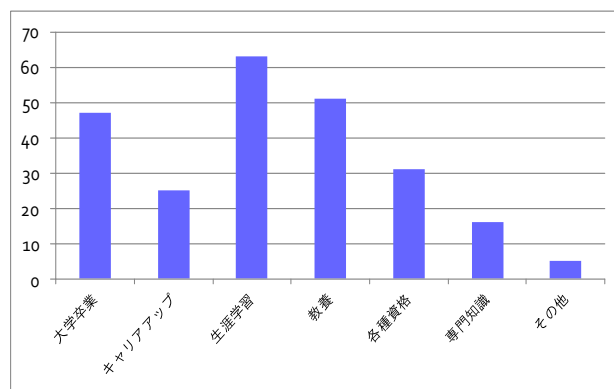
設問は、10問。Q1. 入学の学生種類とコース。Q2. はじめての入学か、再入学か。Q3. 性別、年代、職業、居住地域。Q4. 放送大学のことをどこで知ったか(媒体の種類)。Q5. 募集要項を入手した場所。Q6. 入学した目的。Q7. 放送大のしくみや、学習のすすめかた等で、わかりにくいところがあるか。Q8. 入学前に、電話相談や学習センターの相談を利用したか。Q9. パソコン、インターネットの利用状況。Q10. 入学者の集いの感想および自由意見。このうち、Q. 3. 4. 5は、主に学習センター事務室が利用するための設問となっています。



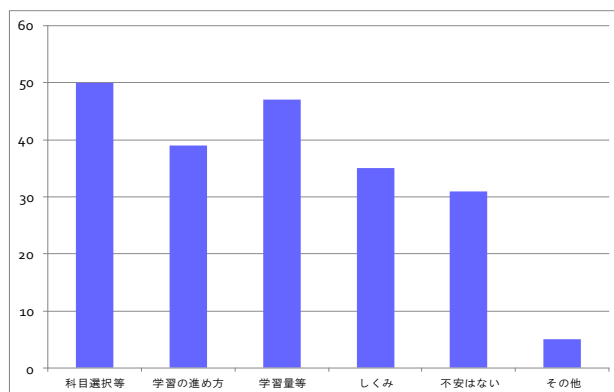
はじめに、学生種別の入学者(上図)です。学部について、50%が全科履修生、そのうち40%が、心理と教育。選科生27%科目生23%。最近3回は、ほぼ同じような傾向が続いています。



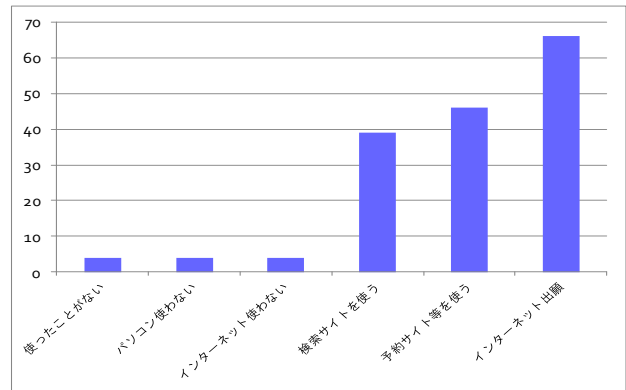
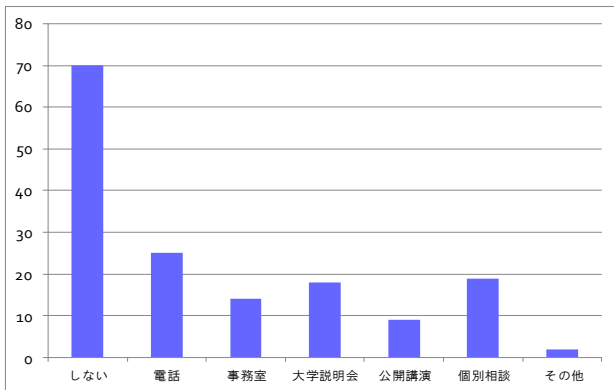
次は、年齢構成です。40歳代から60歳代が多くなっています。30歳代以下が少なくなったのと、60歳代が多くなったのが特徴です。



入学動機については、過去数回と同様の傾向です。全体には、生涯学習が多いですが、教養をあげる方がここ数年多くなっています。



学習のすすめ方や放送大学のしくみでわかり難いところへの問いには、科目選択と放送大学のしくみについて、わかり難いという方が多くなっています。例年より基本的な部分でのわかりにくさが指摘されていて、学習をはじめるにあたってのフォローが必要な方が入学者の集い参加者に多くなっていると考えられます。自由記入欄でも、学習相談に対する期待が大きいのが特徴となっていて、いろいろなサポートをうまく利用していただければと思います。入学前の相談状況についての問い(次項)には、半数の方が相談をしなかったと答えていて、電話相談が20%弱、個別相談等は、10%強の利用されています。



ます。入学前の相談が少なかったことが、前問で、科目登録、しくみがわかり難いという回答に影響している可能性もあります。

パソコンの利用について、インターネットを使っていないのは、8%程度、92%の方は、日常的にイン

ターネットを使っていました。さらに、45%が、ネット出願してます。前回に比べると、インターネットの利用率は頭打ちになっていて、すぐに全員がネットを使えるようになるのは難しいようです。

2018年度神奈川学習センター「学生研修旅行」について 下記のとおり実施いたします。

研修テーマ：リサイクル及び建築物、美術について学ぶ。

研修目的： 午前には城南島(羽田空港そば)のリサイクル工場2社(「株式会社リーテム」及び「株式会社アルフォ」)を訪問し、「環境保全」「社会利益」「経済メリット」の三者のバランスを取りながら発展していくサステナブル(持続可能)な社会及び食品廃棄物の飼料化への取り組みについて学びます。
午後には上野の国立西洋美術館を訪問し、2016年度に世界遺産に登録された「ル・コルビュジェ」による建築作品である本館及び館内の所蔵作品(常設展)について学びます。

1. 日時：2018年10月11日(木)8:30～18:00【雨天決行】
放送大学神奈川学習センター 8:20集合
横浜駅東口(当センターではありません) 18:00解散(予定)

2. 研修場所：①株式会社リーテム ②株式会社アルフォ ③国立西洋美術館

3. 募集人数：36名

- ※1 神奈川学習センター所属の学生が対象です。応募者多数の場合は抽選となります。
- ※2 旅行当日に学籍があることが条件となります。
- ※3 研修の全行程に参加できることが条件となります。(解散場所以外からの帰宅は認めません)

4. 申込受付：7月27日(金)～8月5日(日)(センター閉所日を除く)
神奈川学習センター窓口にて(窓口以外での受付はできません)
学生研修旅行抽選申込書を提出してください。

5. 抽選結果：抽選結果は8月15日(水)に、当選者の番号を神奈川学習センターウェブサイト(<http://www.sc.ouj.ac.jp/center/kanagawa/>)及び神奈川学習センター内の掲示板に掲示します。抽選結果の連絡は一切行いませんので、必ずご自身で確認を行ってください。

6. 当選者 当選者は8月15日(水)～9月1日(土)(センター閉所日を除く)の期間中に、参加費
参加手続：800円(予定)(お弁当代、バス旅行傷害保険代)と、参加確認書(参加費支払い後配付

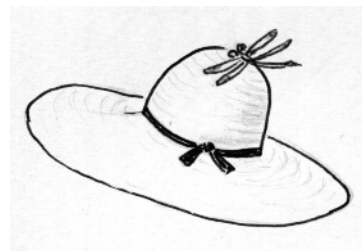
す
る書類)を神奈川学習センター窓口にて提出してください。
期間中に参加費のお支払いがない場合は、参加権利を失います。
この場合、繰り上げ当選者に参加権利が移ります。

7. 研修指導： 福富所長、センター客員教授1名、K-サポート(バス研修チーム)

8. その他： ①参加者には簡単な感想文(学生研修旅行参加報告書)を提出してもらいます。
②交通移動手段として、借り上げバスを利用します。
③昼食はお弁当(「崎陽軒」の「季節の弁当」)を用意します。
④研修パンフレットは9月下旬に送付する予定です。
⑤国立西洋美術館の入館については、放送大学がキャンパスメンバーズに加入しているため
学生証の提示があれば無料です。必ず有効期限が切れていない学生証を持参してください。
(お忘れになった場合は実費(500円)がかかります)

【自由記入欄 多かった感想・意見】

- ・たくさんの学生が集まっているのに驚いた(5名)
- ・入学した実感を持つことができて、学ぶ意欲がわいた(5名)
- ・学習相談などのK-サポート活動があることを知り心強く思った(5名)
- ・客員教授の先生方の話が興味深く、面接授業の選択の参考になった(4名)
- ・学歌の歌唱が素晴らしかった(3名)
- ・入学前、事務室の電話対応がよかった(2名)
- ・配付資料の出来が素晴らしいので、説明の時間場もっと短くてよいと思う(5名)



日韓文化交流の一日

韓国語同好会 村田 カズ子

「日韓文化交流の一日」韓国語同好会
神奈川学習センター韓国語同好会と韓国放送通信大学日本学科との国際交流は2009年から始まりました。本部はソウル郊外の大学路にあります。国立ソウル大学があった場所なので一帯を大学路と呼んでいます。放送通信大学は韓半島全体で地域大学や学習館(学習センター)が13校あります。



最初の釜山地域大学との交流は当時の神奈川学習センター所長の濱田教授の道先案内で始まりました。今回はソウル近郊の学習館の卒業生、現役学生18名と李暎洙教授一行がセミナーハウスに4泊5日、水戸や箱根方面の研修旅行を兼ねての親睦・交流会でした。

特筆すべきは本部幕張の総務課国際連携係が大学挙げて一行を歓迎下さったことです。

6月22日のKNOUのプレゼンテーションには学長、副学長他、隈部教授、大橋教授や職員、たくさんの方が参加されました。

翌23日、2日目に横浜駅東口で待ち合わせ、三溪園を案内し、午後は神奈川学習センターでの交流会を行いました。同窓会茶道部の日本文化“お点前”であじさい饅頭の和菓子、お抹茶を味わって頂きました。亭主と半東の季節を先取りした組の和服姿に心魅かれたことでしょう。その後、福富所長の歓迎の言葉、李暎洙教授の挨拶と続き、昨年5月の釜山訪問時に続いて澤村雅嗣さんが太極拳に皆さんを誘いました。韓国の人たちは長けた日本語での自己紹介、拍手が湧きました。

地下鉄と根岸線で中華街へ。“錦里”では中国伝統料理と変面ショーを楽しんで頂きました。日本酒、紹興酒で会話も弾み、韓国語、日本語が交錯！双方の楽器演奏で「ブルーライトヨコハマ」「アリラン」を熱唱。

国際交流グループ、同窓会の仲間も加わっての一日、私たちの願う「日韓市民交流会」は神奈川学習センターの協力
で無事に終わりました。

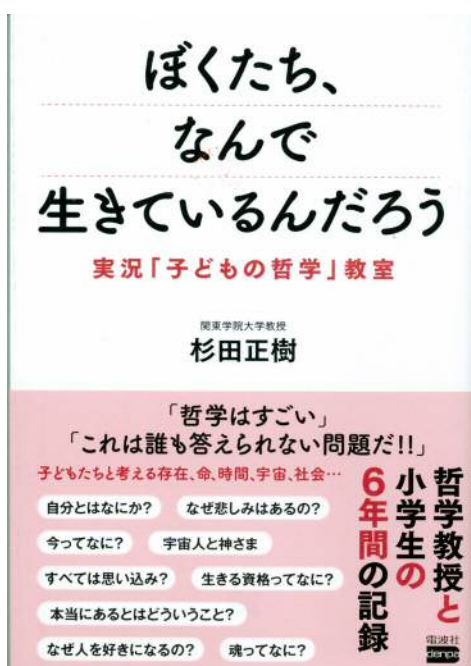


杉田客員教授の本が出版されました

客員教授で、ゼミ「哲学カフェ」も開講されている、杉田正樹先生の著書『ぼくたち、なんで生きているんだろう 実況「子どもの哲学」教室』が、4月1日電波社より出版されました。

先生が、関東学院小学校で実施されている「子どもの哲学」の授業を纏めたものです。子どもを対象とした哲学は今までもありましたが、子どもの問いに対して、哲学者が答えるというものがほとんどでした。この授業は、子どもの問いに、子ども同士、先生も一緒に考えるというもの、そして、その授業をまさしく「実況」した本です。

子どものことを知る、グループワークの授業の参考にもなると思いますが、素朴だけれどとても深い意味をもつ哲学ともいえると思います。また、童心に戻ったり、今の自分とは違った見方でものを見るヒントになるかも知れません。読者それぞれ、違った輝きを見せる興味深い本。みなさま、ぜひお手にとってください、



平成30年度 神奈川学習センター開講ゼミ・研究会一覧

●神奈川学習センター客員教授開講ゼミ

教員名	ゼミ名	活動内容	開催等	開催日	連絡先	備考
有馬 真	地球科学ゼミ	神奈川県には、箱根火山、丹沢山地、三浦半島など、変化に富んだ地形と多様な地質で構成される多くの地域があります。地球科学ゼミは月1回(原則第3水曜日)、これらの地形・地質を対象に野外見学会(巡検)を開催しております。初めての方々も参加できるやさしい内容といえぬ解説の見学会を開催するよう努めています。	原則 月1回	4/24、5/29、6/26、7/18、 9/19、10/17、11/21、 12/12	arima@ynu.ac.jp	所外有
上川 孝夫	上川ゼミ	金融や国際金融を中心に、世界経済や経済学について学びます。一見難しそうな学問ですが、外国為替やマーケットの話など、基礎から学びます。ドルや欧州単一通貨ユーロ、円や人民元など、話題性の高いテーマについても取り上げます。また、日本銀行や東京証券取引所の見学なども予定しています。	原則 第3土曜日	4/21、5/19、6/16、7/21、 8/25、9/15	kamikawa@ynu.ac.jp	所外有
杉田 正樹	哲学カフェ	「哲学カフェ」をやっています。参加者からその都度問題を出してもらい、それらについてみんなで議論するというものです。調べれば分かるような問題や、専門的な問題ではなく、身近なところで日頃不思議だと思っていることを論じます。人の話をよく聴くこと、よく考えることが条件です。黙っていることももちろん OK です。	原則 第4土曜日	4/28、5/27、7/1、8/25	msugita@kanto-gakuin.ac.jp	
角 洋一	角ゼミ	角ゼミでは、小職の担当面接授業「構造物の強度と安全性」にも関係するテーマとして、明治・大正期を代表する物理学者・随筆家である寺田寅彦の随筆を読むことを企画しました。彼の随筆で取り上げられる力学と自然災害、大学と教育などのテーマは、現代に生きる我々も熟考すべき普遍的課題でしょう。【テーマ】寺田寅彦の随筆を読む ー自然現象と災害、海の自然、科学と人間そして社会ー	原則月1回 木曜日	4/12、5/17、6/14、7/12、 8/9、9/13	sumi@ynu.ac.jp	
高橋 邦年	英語基礎ゼミ ナール	これまで英語を習ったことがなかった、習ったけどほとんど覚えていないという学生さん多いと思います。そういう学生さんを支援しながら「やさしい英文法」を勉強したいと思います。	原則月1回 土曜日	4/28、5/26、6/16、7/14、 8/25	takahak18@gmail.com	
種田 保穂	種田ゼミ	動物学に関する様々な面白い話を紹介しています。そのほか不定期に探鳥会や、磯の動物の観察会を行っています。博物館、水族館、動物園などにも出かけて行きたいと思います。また、年に一回は会合のゼミを行いたいと思います。	原則 月1回	4/17、6/19、7/18	taneda-yasuho-pj@ynu.ac.jp	
茂木 一衛	茂木ゼミ	ヨーロッパのクラシック音楽の歴史を辿り、その時代に生きた作曲家の音楽作品を器楽と声楽のアンサンブルで演奏し、また鑑賞し学んでいきます。歌と楽器でのユニークな編成で楽しめます。自分のできるパート、やってみたいパートを自由に選んでご参加ください。 ・練習・鑑賞曲 バッハ、モーツァルト、シューベルトなどの名作から	原則 月2回	4/13、4/15、5/11、5/25、 6/29、7/8、7/20、8/10、 8/28、9/9	kmoteki@nifty.com	

●本部客員教授開講ゼミ

教員名	ゼミ名	活動内容	開催等	開催日	連絡先	備考
遠山 紘司	遠山ゼミ	ものごとをまとめる力、発表する力そして討論する力を身に付けることを目的としたゼミです。ゼミ担当者は自分が興味ある問題を探し、解決するまでの過程を考えて発表します。その後、全員で問題の捉え方、解決策について討論します。ゼミの担当は1年に1回程度です。	原則月1回(第3又は第4木曜日)	4/19、5/24	kmymt@olive.ocn.ne.jp	

●元客員教授開講ゼミ

教員名	ゼミ名	活動内容	開催等	開催日	連絡先	備考
浅野 幸弘	浅野ゼミ	経済・金融・証券の分野で興味深かつ重要と思われる本を取り上げて輪読します。毎回担当者が本の内容をまとめて報告、質問などがあれば教員が補足説明し、その後、報告をベースに参加者全員で議論します。2018年度前期はプリニョルフォン・マカフィー(村井章子訳)『ザ・セカンド・マシン・エイジ』を使います。	原則 第2木曜日	4/12、5/10、6/14、7/19、 8/9、9/13	asano-yukihiro-rc@ynu.ac.jp	
影井 清一郎	科学の散歩道 研究会	身近な物理・生命・社会等の現象を数学・物理学・工学(コンピューター)の切り口で自由闊達に議論し、結果を踏まえて自らの学びに取り入れられます。9月からは放送大学の物理・化学系科目が難しく感じられた方へ「量子論に至る道しるべ」と題して、高校数学の復習から始め、量子論を理解するための道しるべを始めます。奮ってご参加ください。	原則月1回(第3又は第4木曜日)	4/21、5/19、6/16、9/15	kagei@ynu.ac.jp	
藤原 一繪	植生研究会	主な活動は観察会と報告会です。観察会では、植物や植生の見分ける、特徴の解説、植物に関する指導などを受けられ、自身で疑問を持つこと、考える力をつけてゆきます。また、観察会のまとめを年に1度は発表し、まとめと発表の力をつけます。教養学部「自然と環境コース」の植物・植生や環境に関する科目に興味がある方や、卒業研究を目指す方にお勧めです。	原則 第2木曜日	4/12、5/17、6/14、7/12、 9/13	syokusei@yakatsu.org	所外有

●元放送大学教員開講研究会

教員名	ゼミ名	活動内容	開催等	開催日	連絡先	備考
柏倉 康夫	三無会	「三無会」は放送大学情報学の修士修了生を中心に、現在の情報のありかたや、コミュニケーションの現状を研究する会です。年1回機関誌(審査付き)を発刊。投稿を受け付けています。また、「放送大学情報化社会研究会会報」を年4回、会のMLにて送信(ホームページで一般公開)しています。6月に総会・研究発表を開催。	不定期開催	6/30	miyako.f71417@jcom.za q. ne.jp	

●神奈川学習センター開講研究会

教員名	ゼミ名	活動内容	開催等	開催日	連絡先	備考
田口 一博	放送大学ガバナンス研究会	政治学の天川晃ゼミを母体に発足し、会員約百人。毎月の研究会では会員の研究報告と原書購読(現在 Lane "State Management" 稲継裕昭 訳)のほか研究者をお招きして報告会を行っています。	原則 第3土曜日	4/21、5/19、6/16、7/21	jkaz@nifty.com	

Kーサポートからのお知らせ

○学習相談チーム

平成30年度2学期の学習相談は、10月20日から12月22日までの土曜日と日曜日、午後1時から午後3時50分の間、2階談話室の相談コーナーで行う予定です。

予約は不要です。放送大学での学習に関して困っている点に限らせていただきますが、まずは気軽に何でも相談にきてください。

○パソコンサポートチーム

パソコン初心者塾

・8月23日(木)13:00～15:30 「科目登録の提出」

※参加・サポートを受けるには、申し込みが必要です。学習センター1階ロビーKーサポート掲示板下に、用紙とポストがありますので、ご利用ください。上記日程(定期塾)のほか、日程を調整して個別対応(不定期塾)もいたします。(定期塾受講のときにご相談ください。)

編集後記

寄稿者、関係者、みなさまのおかげで、なっただよりも、発行できることになりました。お礼申し上げます。

今回、大田さまより、カット絵を提供頂きました。ありがとうございます。

面接授業関連記事については、内容の見直し等を行い、今号の記事が間に合いませんでした。次号以降掲載してゆきたいと思います。

10月から放送大学しくみが大きく変わることにあわせて、次号の発行は、10月初旬を予定しています。

第32回 フェスタ・ヨコハマ

＜放送大学神奈川学習センター学園祭＞
2018年9月1日(土)～9月2日(日)

『出会い・触れ合い・学び合い』

初日：9月1日(土)は、10:00～16:00「映画鑑賞会」「大岡寄席」「ダンスパーティー」「神奈川同窓会ホームカミングディ」などのイベントが盛りだくさん。また、両日とも学生等の作品展示を行います。詳細はちらしをご覧ください。

2日目：9月2日(日) 10:00～11:30
記念講演会：来生 新 放送大学学長

演題：『教育と通信制度』

—高等教育における職業教育、教養教育の歴史とメディア—

本講演の縦糸は、大学における教養教育のあり方を考えることである。

ヨーロッパにおける大学の起源は、神職、医師、法律家という、専門職業人(プロフェッショナル)の養成にあった。その後の社会の変化の中で、教養の概念、その教育がどのように変化したかを踏まえて、21世紀中葉に向かうわが国におけるそのあるべき姿を考えてみる。

本講演の横糸として、郵便、放送、コンピューターネットワークという通信制度の変化が高等教育にどのような変化を与えたかの視点を絡める。

講師プロフィール

1947年7月22日生まれ。

1975年 北海道大学法学研究科博士課程単位取得退学。同年横浜国立大学助教授(経済学部)。

専門は法学、特に経済法、行政法。最近はおっぱい海の利用や管理に関する法制度の研究、提言活動を行う。横浜国立大学名誉教授。法学修士(北海道大学)



引き続き

11:30～12:30 アトラクション(ジャズライブ)

13:00～15:30 親睦交歓パーティー(立食パーティー)

茶席、各サークル出店、俳句・川柳大会、大抽選会

参加券：1,000円 ※9月2日行事の参加には「参加券」が必要です。

当日券の用意はありません。事前にお求め下さい。

入手方法：①神奈川学習センター1階ロビーにて次の日程で頒布します。

(単位認定試験期間、学習センター閉所日を除く)

7月27日(金)・7月28日(土) 9:45～17:00

7月29日(日)～8月5日(日) 9:30～19:00

②下記の参加団体にでも取り扱っています。

参加団体：うえるかむ神奈川、神奈川放友会、韓国語同好会、資格取得研究会、中国語学習会、人間学研究会、放送大学神奈川合徳園、放送大学ダンスサークル、放犬かながわレク・サークル、スペイン語研究会、神奈川同窓会

主催：放送大学神奈川サークル協議会 後援：放送大学神奈川学習センター

お問合せ：0463-92-8037 (神奈川サークル協議会事務局長：高橋 照夫)

080-5546-7913 (広報担当：宮崎 博之)

OUJ神奈川学習センターだより編集部

●学習センター事務局

●家田、伊藤、入江、遠田、笠井、吉川、木下、宮崎、三国
(50音順、以上、Kーサポート機関紙編集チーム)

●垣谷(Kーサポート事務局)

学生サークルからのお知らせ

○韓国語同好会

★月例会 第2、第4土曜日

- ① 10:00～11:30 初級クラス
- ② 11:30～12:00 ミーティング(全員)
- ③ 12:00～13:30 中級クラス
- ④ 13:45～14:45 自主学習 読書会
(「昔話で学ぶ韓国語」)

★講師 李明淑(イ・ミョンスク)先生

★フェスタ神奈川、マッコリを用意します、是非お立ち寄りください。

★問合せ 神奈川サークル協議会のホームページからどうぞ。

★10月より月例会は第1、第4土曜日に変わります。
<http://kcc-ouj.net/dantai/hanguo/>(代表:露木)

○放大かながわレク・サークル

★サークル活動:放送大学生との「仲間作り」と
ウォーキング等の「健康づくり」

★例会:2ヶ月に1回(含、映画鑑賞会)

★ウォーキング:2ヶ月に1回、「東海道五十三次」
実施中。名所旧跡文化施設等も対象。

★その他観劇、観光、映画、美術鑑賞等。

上記の各種活動はいずれも自由参加。

—会員募集中(随時申込・受付)—

問合せ:島田 義治 Tel 090-3907-8384

E-mail simada.yosiharu@coral.plala.or.jp

○中国語学習会

学習日:原則 第1、第3日曜日

(詳しくは学生掲示板ポスター)

- ①10:00-12:00 中級クラス: 文法、表現力向上、
自由会話 講師: 告旭平先生
- ②13:00-15:00 入門、初級クラス: 発音基礎から
簡単な表現を習得 講師: 李春霞先生
参加はどの時間帯でも可能です。
- ③会費: 1ヶ月2000円3ヶ月分前納。
- ④学習以外の活動: ハイキング、中国映画鑑賞、
研修旅行など。会員相互の親睦を深める企画
多々あり。
- ⑤問い合わせ: 080-3552-2497 和田、
E-mail: snuf.708w@ezweb.ne.jp

○ダンスサークル(社交ダンス)

場所:神奈川学習センター第7講義室

曜日:第2・第4火曜日 *第1・第3火曜日自主練習

時間:午後2時～4時 講師:菊島弘明・ユリ子

会費:1か月 1500円

活動内容:社交ダンス(モダン、ラテン)の学習(ダンス
パーティーで踊れるレベルに)

ダンスはスポーツです。健康増進(特に、姿勢が良くなる)、ストレス解消に、楽しく踊りませんか!! 人生がより明るくなります。不定期ですが、1泊での実習旅行も実施しています。初めての方も楽しく踊っています(初心者、歓迎!)

また、全科履修生の方は30時間のレッスンで、体育実技1単位を取得できます。

連絡先:中村 健 tarumakan0904n@gmail.com

○うえるかむKanagawa

私たちは英語を楽しみながら学んでいるサークルです。

☆例会は毎月第2、第4水曜日です。(試験月等は変更があります。)

*Benny Class(3クラス) 10:15～12:30

*English songs 13:15～13:30

*Group study 13:30～15:30

☆そのほか暑気払い、うえるかむ名画座、ゲスト講演会などを開催しています。

問い合わせ 片野眞明 090-4714-8260

○人間学研究会

☆毎月の例会で会員が卒業研究、旅行経験等を発表

例会予定 :神奈川学習センター 於

8月12日(日)13:00～ 「佐藤正雄のシベリア抑留
記から読み解くシベリア抑留」

10月7日(日)10:00～ オペラ歌手 島村武男さん

「良い声の出し方と健康・・・」

☆会誌「せせらぎ」29号を発行

☆散策・植物園美術館巡り等の行事、懇親会。

会員募集中

お問合わせ :

小林鋭子 E-mail: d52n66su_yoof@ybb.ne.jp

佐藤義春 E-mail: yoshi.l.chie@yd6.so-net.ne.jp

○資格取得研究会

看護・福祉分野のキャリアアップや進学・就職を目指す集まりです。各種資格(心理系含む)の取得と放送大卒業を目的とする方が多い。内容は、情報交換が中心。

例会は、原則、毎月一回、土曜日または日曜日の午前中、2時間程度開催しています。

会費：¥500(1年間)

ホームページ…<http://shikaku.yumesora.net>

お問い合わせ…080-5546-7913(はこざき)

○スペイン語研究会

★学習日：月二回(原則第1、3木曜日)

会費：一回1,000円、①講師による日常会話習得、CD・DVDを利用したヒアリング。②会員/ゲストスピーカーによるスペイン語圏歴史・文化に関する研究発表及び講演。実績；マチュピチュと南米、スペイン・サンチアゴ・デ・コンポステーラ、ブラジル・イグアスの滝他コロンビア、ベネズエラ、グアテマラ、アルゼンチン。スペイン研修旅行も計画中。

★連絡先：会長・講師 肥後 照雄

(電話：080-2049-3523)

メールアドレス：t_higo@cb3.so-net.ne.jp)

○神奈川合唱団

♪♪音楽の素晴らしさを共有し、共に楽しみ、団員相互の親睦をはかり大学生活を豊かなものにすることを目的に活動しています。♪♪♪

5月9日(水)神奈川学習センター第5講義室にて、平成30年度神奈川合唱団は総会を開催して、今年度の合唱団活動項目が決まりました。

○学位記授与式・卒業生の集い(9月、3月)

○入学者の集い(4月、10月)

○演奏会に参加(久我山教会、11月)

○学位授与式(NHKホール3月)

○フェスタ・ヨコハマ(9月)

○練習曲の選定◇前期練習曲として、[学歌]をはじめ次の3曲を練習しています。

☆大地讃頌(四部合唱)

☆いのちの歌(二部合唱)

☆マイ・ウェイ My Way(四部合唱)曲

☆場所：大岡地区センター2F音楽室

☆日時：毎月第1、第3水曜日18:00~20:30

☆連絡先：馬場信一

shinichi-36820-baba@extra.ocn.ne.jp

○神奈川放友会

豊かで実りある学生生活を共有することを目的に「学び」と「触れ合い」を柱とする幅広い活動を展開し150余名の会員がいるサークルです。

☆学びの場の活動

○例会：8月12日(日)

神奈川学習センター第2講義室

☆触れ合いの場の活動

○一泊研修旅行9月14日(金)~15日(土)大学本部にて会員による研究発表、翌日は茨城方面へバス旅行

☆毎月の活動

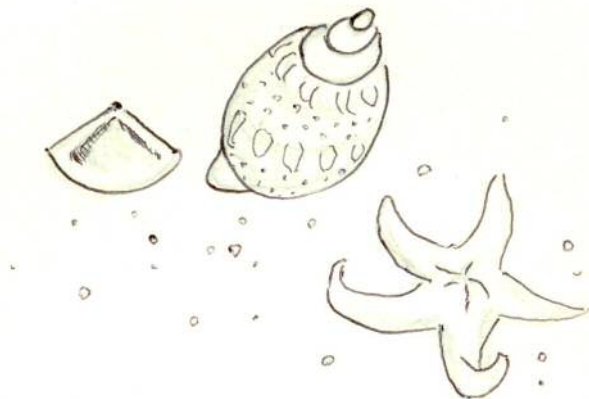
○俳句の会、書に遊ぶ会、女性の会、詩游会、音楽部

問合せ：吉岡 淳 info@kanagawa-hoyukai.jp

神奈川同窓会だより

神奈川同窓会は、放送大学に学んだ「誇り」を共有し「母校意識」をもって大学のために、また、「プランインターナショナルジャパン」や「あしなが育英会」を通じて寄付金を集めるなど、社会貢献活動を進めています。毎月行う「弘明寺サロン」や「卒業・修了祝賀茶話会」、フェスタでの「お抹茶」と「ホームカミングデー」の開催もします。

なお、8月23日午後「禁じられた遊び」の映画上映会をします。



神奈川学習センターからのお知らせ

● 施設使用願の提出期間が変わります

サークル等で講義室を使用する際提出していた「施設使用願」の提出期間が10月1日受付分より変更となります。当日申請による施設使用は出来ませんのでよろしくお願いいたします。

【教授ゼミ】 使用予定日の3カ月前1日から使用予定日前日まで

【ゼミ以外】 使用予定日の2カ月前1日から使用予定日前日まで

※ 例えば、使用希望日が1月15日の場合、ゼミであれば10月1日から、ゼミ以外であれば11月1日から1月14日まで施設使用願を提出することができます。

● 夏季臨時閉所日のおしらせ

単位認定試験終了後の8月は、学習センターの閉所日が多くなります。閉所日については利用の手引き、もしくは神奈川学習センターのホームページ、「センタースケジュール」からご確認ください。

【8月のお休み】

8月3日(金)、6日(月)～8日(水)、11日(土)、13日(月)、17日(金)～20日(月)、27日(月)



● 科目登録を忘れずに

2018年度2学期に履修する授業科目は、1学期中に科目登録する必要があります。

「システムWAKABA」または「科目登録申請票」を郵送し、申請期限内に登録をお願いします。

(ご不明な点は「学生生活の葉」をご参照ください。)



科目登録申請要項の送付時期及び申請期間

	送付時期	申請期間
2018年度第2学期分	2018年7月中旬頃	【WAKABA】8月15日9時～8月31日24時迄 【郵 送】8月15日～8月30日(私書箱必着)

● フェスタ・ヨコハマで来生学長が記念講演を行います！

放送大学長の来生新先生が9月2日(日)のフェスタ・ヨコハマで記念講演を行います。演題は「教育と通信制度 - 高等教育における職業教育、教養教育の歴史とメディア」です。放送大学の今後の展望が見えてきます。乞うご期待！

【日時】9月2日(日) 10時～12時

【演題】「教育と通信制度

- 高等教育における職業教育、教養教育の歴史とメディア」

【主催】放送大学神奈川サークル協議会 【後援】放送大学神奈川学習センター

【内容】フェスタ・ヨコハマ(学園祭)の中で実施します



お問い合わせ：放送大学神奈川学習センター
電話045(710)1910(月曜日・祝日等を除く、9:10～17:40)

